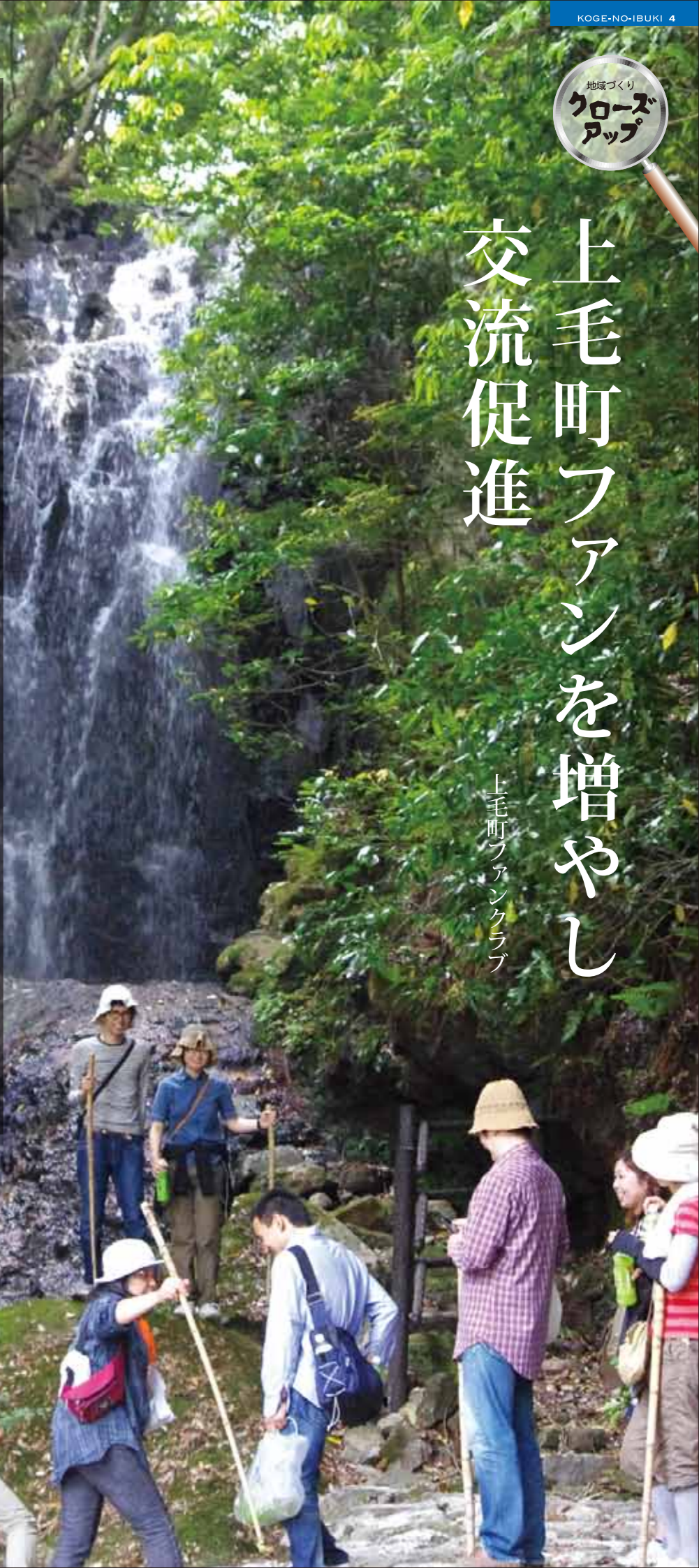




上毛町ファンを増やし 交流促進

上毛町ファンクラブ



上毛町を応援する「上毛町ファン」の増加と、町内外の交流促進を目的として、昨年の春に「上毛町ファンクラブ」が発足しました。

現在、ファンクラブを運営するメンバーは、代表の今瀬諭介さん(吉岡)ほか18名。町内だけではなく、福岡都市圏や、遠くは、横浜市在住の有志が集まっています。

地域の文化にふれる様々な体験型のイベントなどを開催し、参加者に町の良さを体感してもらう「魅力発掘」、情報誌やインターネットを活用して町の魅力を広く町外に伝える「情報発信」、そして、地域で開催される行事やSNS※を活用して、上毛町が好きな人たちが集い交流

を深めることのできる場所づくり「交流促進」を活動の三本柱に掲げています。

上毛町ファンクラブの「会員」には、二通りの参加の方法があります。ひとつは、イベントスタッフやボランティアガイドとして参加したり、情報発信を行って、町の魅力を伝える「PR会員」。もうひとつは、主に町外にお住まいで、上毛町に関心のある方を対象とした「ファン会員」です。ファン会員には、イベント情報のほか、旬な話題が毎月届けられるようになっていきます。ただ今、会員募集中です。

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、社会的な繋がりをインターネット上で構築するサービス。



上 毛町ファンクラブが、活動コンセプトに掲げるのは「田舎あそび」。観光・交流居住・定住という3つの段階に合わせたライフスタイルの提案ができるイベントを、さまざまな特技を持った地域づくり団体などと連携しながら進めています。

6 月4日(土)に、上毛町ファンクラブ主催の「ほたるのひかり」という体験型のイベントが、東上を中心に開催されました。参加者は、行橋市のほか、福岡市や北九州市といった都市圏にお住まいの方が目立ちました。

こ の日、用意された体験メニューは、「岩屋の滝めぐり」を皮切りに、「農業体験(サツマイモの植え付け)」「ホテル籠づくり体験」「川魚釣り体験」「炊き出し体験(交流会)」、そしてメインの「ホテル観察(夜の森探検ナイトウォーク)」と盛りだくさん。体験指導やガイド役は、東上の有志のほか、東下の農家や「よらんかい」の皆さんが連携しながら進めました。特に、ホテル籠づくりでは、91歳の原口日出子さんも登場し、若い参加者から「先生、先生」と呼ばれるながら、先人から受け継いできたモノづくりの知恵を伝授していました。

参 加者の皆さんは、東上を散策中、野ウサギとの遭遇に驚いたり、道端に咲いている花や、木々についた実を見つけては、「これは何ですか」と興味津々。また、ホテル観察では、数多さと規模の大きさに感動したり、「ちよつと夜は肌寒いけれど、澄んだ空気が心地よい」といった声も聞かれました。普段生活している都会とは違う自然いっぱいの豊かな環境、そして、地域の人の良さなどを心から楽しんでいる様



問い合わせ先 上毛町ファンクラブ事務局 ☎ 080-3580-4832(山口さん)

1 ファンクラブ代表の今瀬諭介さん 2 ファンクラブ運営委員の皆さん 3 サツマイモ植え付け
 4 ホテル籠づくりの先生は、地域のお母さんたち 5 屋外でビッフェスタイルの夕食交流会
 6 ユニークな竹の茶わん蒸し 7 ホテルの乱舞。撮影は常慶忠一さん

地 域の人や魅力ある資源を繋ぎ、地域の内外に広くPRする上毛町ファンクラブ。もつとたくさんの方に町の魅力を知っていただき、会員を増やしていきたいと張り切っています。そのためには、人を呼び込むための企画と情報発信が大切であり、専用のホームページを開設する計画も進められているようです。今後も上毛町ファンクラブから目が離せません。

子がかえりました。